



2022年 3月17日  
第167号

# JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集情報担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



3月15・16日  
地本「春闘集会」

# 問題提起!

## 【第1回交渉の会社回答】

21春闘 「いわゆるベースアップを含む基準内賃金の引き上げについては、…」

22春闘 「いわゆるベースアップ、**定期昇給**、基準内賃金の引き上げは、…」

「長期にわたり総額人件費に多大なる影響を及ぼすことから（中略）慎重な判断が必要」

「環境変化に対応するための**生産性向上に対する社員の貢献への成果配分**といった観点を基

本とし、様々な考慮要素を踏まえながら、**毎年度の経営状況を勘案**して決定する」

なぜ、今年は「ベースアップ」と「定期昇給」を同列にしているのかな？



「定期昇給」に「ベースアップ」が  
含むってこと？  
「カット」じゃなくて「引き上げ」  
だったの!?

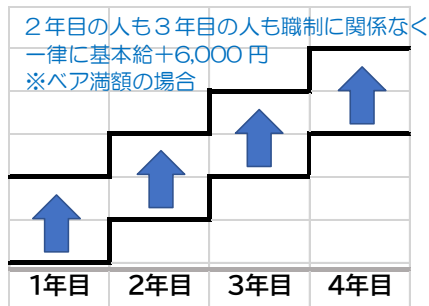
## 【第2回交渉回答】

22春闘 「昨年度の定期昇給の昇給係数2は、**カットではなく、**  
**ベアを含めた中での引き上げである**」

これらの回答から、ベースアップと定期昇給の境目をなくし、「賃金引き上げ」として毎年度、業績や生産性向上に対する社員の貢献度によって、その都度判断していくとしたい狙いが透けて見えます。ベースアップと定期昇給を融合し、「成果型賃金」の足掛かりとしようとしているのではないのでしょうか？

## ベースアップ

全社員の基本給が  
一律にあがる



### 【ベースアップとは？】

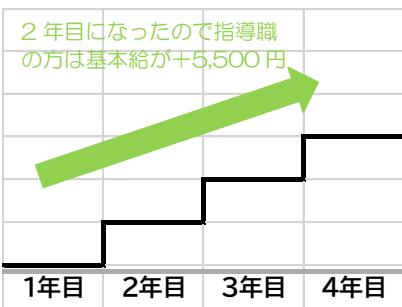
年齢や社歴に関係なく全社員の基本給が一律にあがることを言います。ベースアップは、物価上昇分や生活向上分として、労働組合の中央組織である連合の方針に基づき、横並び一線で各労働組合が経営側に求めます。これを「春闘」と言います。

消費者物価指数が2%あがると、1世帯あたりの平均支出は56,000円も増加。1ヶ月あたり約4,700円の負担増となります。※ニッセイ研究所発表

また、JR健保の保険料も0.5%あがることから、標準報酬額が35万円の方で月々1,750円の負担増となります。

## 定期昇給

個人の社歴(経験)と共に  
基本給があがる



### 【定期昇給とは？】

年齢が上がるとともに経験も増え、仕事に対する熟練度が増していきます。または結婚や子育てといった生活費も増えていくことに対するものとして、定年まで賃金が上昇していく仕組みが定期昇給で、日本型雇用と称される安定を軸とした賃金システムです。年功賃金として、こうした賃金システムが日本の高い技術力と高度成長期を支えました。

昨年度21春闘で定期昇給の昇給係数2をカットされたことで、30歳指導職の方で生涯賃金が約149万円減額されたこととなります。1ヶ月あたりでは2,700円の減額です。

**物価上昇+保険料UP+昨年の定昇カットで一ヶ月約9,150円の負担増  
ベア6,000円でも生活は苦しくなる! 会社は満額回答を!**